

『第1回オール埼玉医大 研究の日』開催報告

村上 孝

(医学部 微生物学)

第1回「オール埼玉医大 研究の日」(以下、「研究の日」)が令和2年11月7日(土)に開催されました。本学は近く開学50周年という円熟の節目を迎えるに当たり、教職員・学生の研究マインド醸成から研究発展が期待されています。この「研究の日」は、本学が教職員・学生の相互交流から全員のオール埼玉医大体制を整備して新たな飛躍を願う想いから企画されました。当初は、①教員の一般発表、②第6回学生による研究発表会、③学位論文紹介、④(病院長推薦)メディカルスタッフ職員の研究発表、⑤医学研究科大学院生博士課程中間発表会、⑥学内グラント受賞者成果報告会、⑦特別講演が予定され、ポスター発表を中心とした祭典となるはずでした。しかし、突如、人類の前に現れた新型コロナウイルスによって全てが一変してしまいました。各種行事が中止や延期になる中、急遽、リモート参加や録画配信を取り入れた感染予防対策を講じ、規模は縮

小しながらも何とか開催することができました。特に次世代の研究を担う人材への研究マインド育成の観点から、学部学生や大学院生などの口頭発表(上記の②、⑤)と特別講演(⑦)のみのプログラムとしました。当日は興味深く洗練された発表内容に呼応して活発な議論が交わされ、とても盛況でした。特別講演では、気になる新型コロナウイルスの最新動向についても話題提供をいただき、とても密度の高い研究会となりました。

この「研究の日」の発表内容は学部学生に対する研究マインド醸成の一環として、医学部2学生には録画視聴を義務付けています。この特集ではプログラムと特別講演2件の内容に加え、医学部2学生から提出された感想文の中から選ばれた3件をご紹介します。特別講演の内容は今後の新型コロナウイルス対応の助けになるでしょうし、学生からの感想文は私たちにとって希望の光にみえます。